

若者のライフデザイン支援事業

第1部 基調講演

ジャンボ宝くじを必ず当てる方法?! ~笑って考えよう! みんなの未来



講師

せち やま かく
瀬地山 角 さん

(東京大学大学院 教授)

リモート
講演

【講師プロフィール】1963年生まれ、奈良県出身。1986年東京大学教養学部卒。10年間2人の子供の保育園の送迎を一手に担い、今でも毎日の夕食作りを担当するジェンダー論の研究者。子連れで渡米し、父子家庭も経験した。日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人へのアンケートで東大の人気講義No.1に選ばれたジェンダー論の講義は、毎年500人以上が受講し立ち見が出る。NPO法人の理事として保育所の運営にも参加。抱腹絶倒の講演で日本全国を行脚中。

10月31日(土)「若者のライフデザイン支援事業」(松山東雲女子大学・松山東雲短期大学との連携事業)を開催しました。

第1部の基調講演では、東京大学大学院教授 瀬地山角先生にリモートでご講演いただきました。ジェンダー論の研究者であり、家事・育児の実践者でもある瀬地山先生。現代の結婚観のお話から、TVCMにおけるジェンダー問題、今後の仕事・会社の選び方など、ユーモアも交えながら学生が気になる話題を分かりやすくお話しくださいました。



講演内容の一部をご紹介します

大学時代のカレと結婚ですか?

- ・大学時代までに付き合った彼と結婚する割合は1割!
- ・離婚件数/結婚件数⇒35%
- 結婚=永久就職の時代ではない!
- ・女性は結婚相手の条件として、「人柄」の次に「家事・育児の能力」を求めている。男性にこそ家事能力!

男も大変!

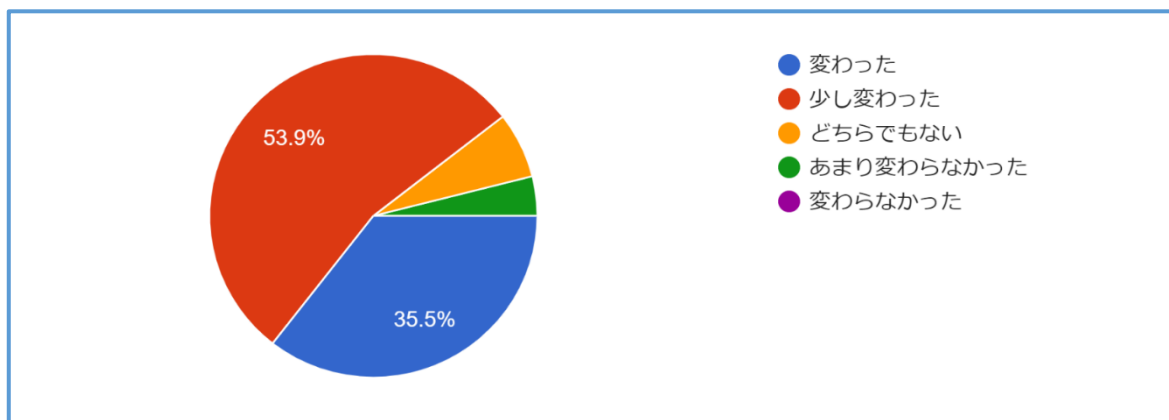
- ・日本の自殺者の7割は男性
- 男性こそワークライフバランスが必要。
- ・夫だけが家計を支えるより、夫婦の二本柱、二頭立て馬車で家計を支える方が、もしもの時に安心。

- ・女性が正社員で働き続けると、その生涯賃金は宝くじを当てるレベルの額に。
- ・妻も仕事を続けることができれば、夫が残業をするよりも家に帰って家事・育児をする方が、より高い時給を得られる計算になる。

ジャンボ宝くじを当てるには…
仕事も家事育児も夫婦で協力することが必要!!

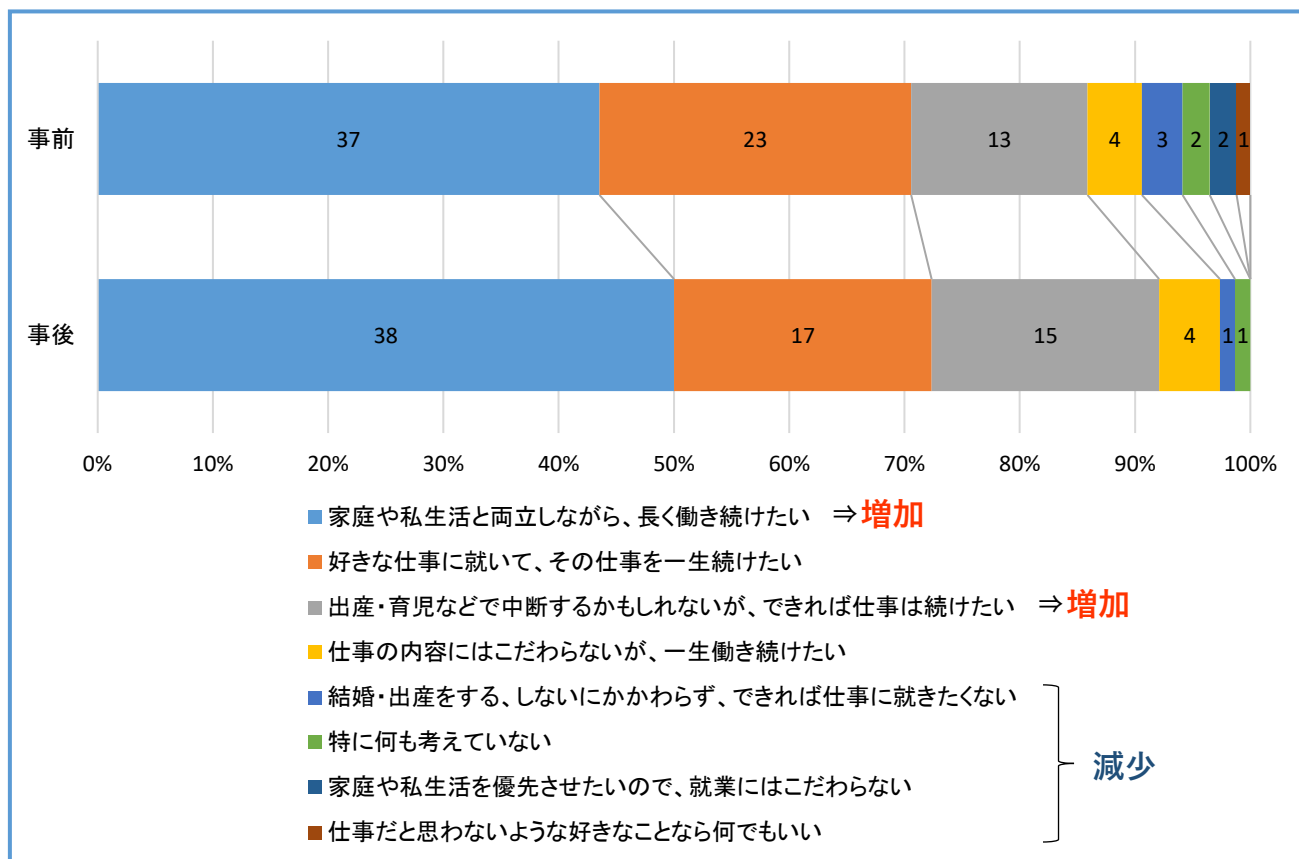
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の 主に就職活動を始める前の1～2年生 76名にアンケートを実施しました！

Q1. 自身の人生設計（ライフデザイン）について、講座を受講前と受講後で考え方は変わりましたか。 ⇒ 89.4%が「変わった」「少し変わった」と回答



Q2. 講座を受講後の現時点で、どのような働き方を理想としていますか。
(もっとも近いものを1つ選んでください)

※講座の受講前と受講後で、二度アンケートを取り比較しました。



その他、計7問の質問に答えていただきました。

参加者の感想



- ・今回第1部では、正社員を続けることが安定できる条件だということ、家は男女で支え、育児は女性だけがするものではないことが特に印象に残りました。育メンや専業主婦などに関する瀬地山先生の考えがCMや、グラフからより理解を深めることができ、とても貴重な講演でした。
- ・自分の将来の成長に活かすことのできる貴重な講演であると感じました。専業主婦や育メンという概念が私の思っていたものとは大幅に違うこと、正社員が安定に最も近い職であり、働くという楽しさ、苦労、人と人とのつながりの大切さを実感できた貴重な講演でした。社会で役立つような普段知ることのできない、面白く、また興味深い講演を拝聴することができました。
- ・育児や家事に理解のある結婚相手を見つけたいと思いました！また自分の働き方も、すぐに仕事を辞めずに育休を取り、仕事を続ける選択肢もあると知りました。
- ・これから将来のことについて改めて考えることができました。また、講座の後と前で考え方も変わってきました。
- ・専業主婦を望んでいる割合が男女とも1割という現実に驚きました。
- ・すごく考え方も変わった講演会でした。ありがとうございました。
- ・今回の講座を受講して、自分のライフデザインについて大きく考え方が変わりました。もし、妊娠をし出産を経験する時が来ても安易な気持ちで退職せず、夫婦間で十分に話し合い互いに協力することが重要だと感じました。

瀬地山先生より大学生の皆さんへ



大学入学はゴールではなくスタート！
大学は「無駄」を学ぶところ。
時間をかけて挑戦したいこと、自分の好きなことをやってみよう。
学生生活の間に、これをやり切った！
と言えるものを作ろう。

自分が思い描くライフデザインを考える

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の1～2年生を対象に開催した「若者のライフデザイン事業」（松山東雲女子大学・松山東雲短期大学との連携事業）の第2部は、女性の活躍促進に積極的に取り組んでいる「まどんな応援宣言企業」から、先輩社員のみなさんをお招きし、感染対策を十分にしながら、ライフデザインをテーマにパネルディスカッションを開催いたしました。

仕事を続ける中で経験した良い部分だけでなく、これまでの悩みも率直に語ってくださり、紆余曲折ありながらも躍進を続けられている4名のパネリストのお話に、勇気づけられた学生さんも多かったのではないのでしょうか。

「就職が不安で嫌だったけれど、講座を聞いてから、早く就職して生活を充実させたいという気持ちになりました。」という、学生さんからいただいた感想が、この交流会の雰囲気をも良く表しているように思います。

パネリストのみなさん



株式会社クラス
安倍 めぐみさん



愛媛トヨタ自動車株式会社
和泉 智子さん



社会福祉法人 松山紅梅会
高齢者総合福祉施設 梅本の里
二宮 崇さん



有限会社ラポール
児玉 万年さん



コーディネーター

NPO法人 ワークライフ・コラボ
代表理事 堀田 真奈さん



まどんな応援宣言企業ってなあに？

【対象となる企業】

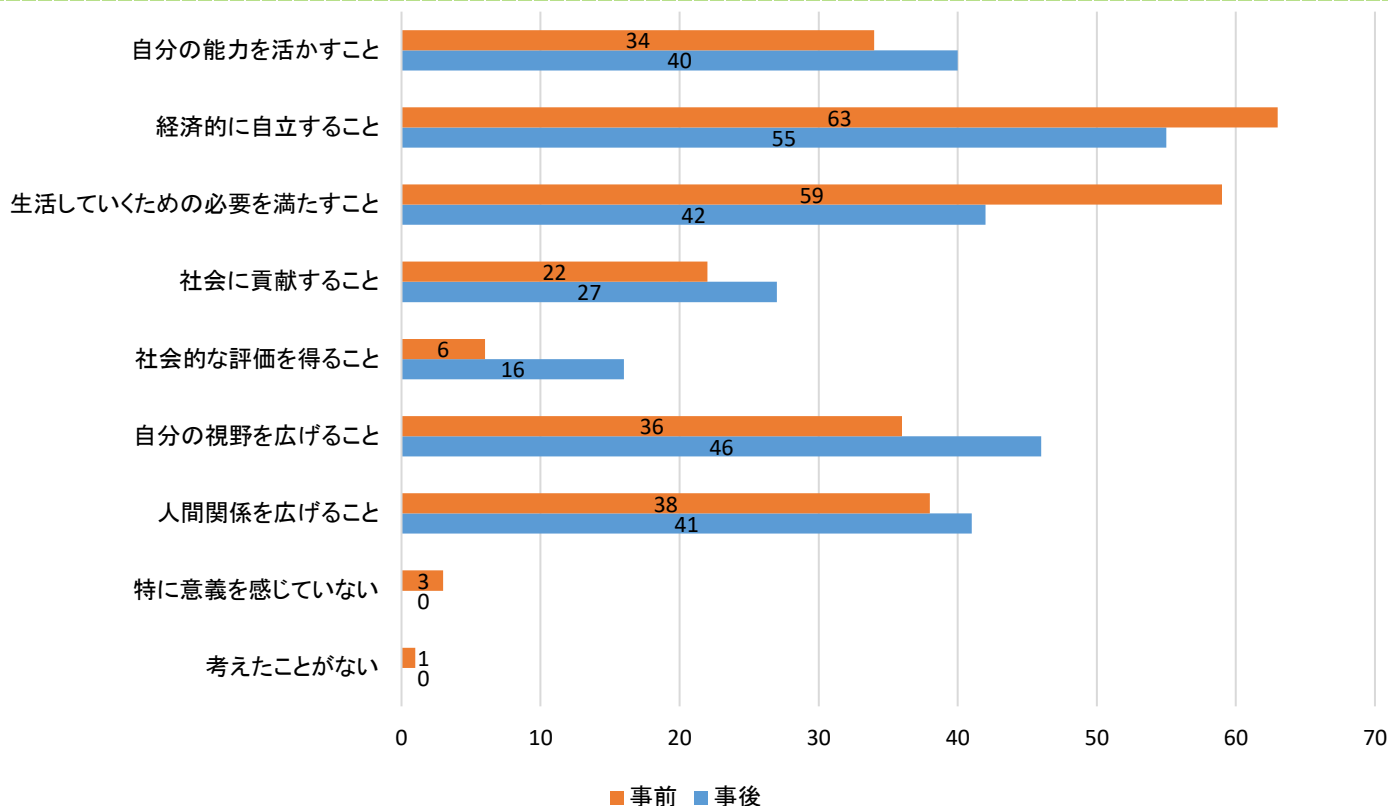
松山市内に事業所を有し、次に挙げる取組を積極的に行っているまたは行う予定の事業所等

【取組内容】

- ◆女性の採用・登用や職域拡大のための取組
- ◆職業生活と家庭生活等の両立を支援するための取組
- ◆男女がともに働きやすい職場づくりのための取組
- ◆その他、男女共同参画推進に向けた特色ある取組

審査の結果、令和2年度は、84社が「まどんな応援宣言企業」として認証されました！

仕事に就く意義は何だと思えますか。（あてはまるもの全て選んでください）



「社会的な評価を得ること」
 「自分の視野を広げること」
 「自分の能力を活かすこと」
 「社会に貢献する事」が**増加**

「経済的に自立する事」
 「生活していくための必要を満たすこと」が**減少**

上記のアンケート結果からも、先輩方のお話を聴くことで、将来のイメージが膨らみ、お金を稼ぐためだけでなく、人生を楽しむ一要素として「仕事」ととらえるようになったことが分かります。

また、職場での実体験を聴くことで、仕事に就く上で重要視する条件として、「職場の人間関係・コミュニケーション」や「仕事・家庭の両立のための支援制度」といった職場環境の重要性を認識したことが、今回のアンケートによりわかりました。

職場ではじめて育休を取得したという二宮さん。仕事と私生活の両立に悩まれたご経験を語ってくれた児玉さん。男性の意見も聞くことができ参考になった、との声もいただきました。

正社員を続けながら結婚・出産を経験された和泉さん。結婚を機に退職され、パートも含め数回転職をしている安倍さん。家庭と仕事を両立している二人の女性の、それぞれの働き方を知り、結婚や出産について考えるきっかけにもなったようです。

今回お話くださった4名の共通点は、就職してすぐに壁にぶつかったことでした。さまざまな経験乗り越えてこられた先輩方の姿を見て、これから悩んだり迷ったりすることがあっても、「誰もが経験する事なのだ」と以前より前向きに受け止められるようになったのではないのでしょうか。

今回の事業が、学生の皆さんにとって理想のライフデザインを考える一助となったことを、大変嬉しく思います。今回の気づきを実践に活かしていただきたいものです。

○今後もコムズでは、学生を対象に、理想のライフデザインを考える機会となる事業を実施していく予定です。

○出張講座としての開催も可能ですので、ご要望がある方は事業係までお問い合わせください。

ライフデザインが明確になった！ 未来を考える参考になった！

仕事に就く際、職場の雰囲気、人間関係はほんとに大切なことだと感じました。今から具体的に将来のキャリアデザインを考えていい環境で働けたらいいなと感じました。

実際の経験談を直接聞いて自分のライフプランを考え直すことができるきっかけになりました。

皆様のライフスタイルを具体的に聞くことでとても参考になりました。これからもこのようなお話をたくさん聞きたいなとおもいました。

仕事や結婚について考える いい機会になった！

人それぞれ様々な生き方があって良いのだと改めて感じました。



貴重なお話を伺うことができ、とても良かったです。結婚するつもりはありませんでしたが、結婚のことも考えた方がよいのかなと思いました。貴重な経験をありがとうございました。



就職・将来に対して 前向きになれた！

将来に対して不安しかなく眠れない夜もありましたが、今回の講座で様々なライフデザインがあることがわかりました。それぞれに成功や失敗はあれど、どれが正解というのはいないのでもっと多方面に視野を広げて自分に合うラインを見極めたいと思いました。

企業の方のリアルな話を聞いて、上手くいかないこともあるけれど目標に向かって頑張っていることを知り、私も頑張っていきたいと思いました。

就職したばかりは人間関係で誰もが悩むのだなと思いました。自分だけが悩んでると思わず、自分自身が頑張れる方法で仕事をしていきたいと思いました。